

第2章



復旧・復興トピックス

宮城県土木部「復興元年(平成24年度)」カレンダー

6日 三陸沿岸道路仙塩道路4車線化着工式が開催



仙塩道路(仙台北IC～利府中IC)は東北縦貫自動車道、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の経済・産業基盤を支えます。

25日 仙塩浄化センター下水処理開始式を開催

仙塩浄化センター(多賀城市)の復旧は、STEP3「水質改善期Ⅱ」に移行し、生物処理が可能となり、震災前の50%の能力まで復旧しました。

31日 国道113号館矢間バイパスが開通

丸森大橋の供用開始にあたり、国道113号館矢間バイパス開通式が開催され、全線開通を祝いました。



7日 菖蒲田海岸災害復旧工事着工式を開催



本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。七ヶ浜町の復興まちづくりに大きく寄与するものとなります。

29日 夢メッセみやぎ復旧完了

夢メッセみやぎ(仙台市)は、震災で甚大な被害を受けるも早期の完全復旧を遂げました。震災後初のイベントとして、7月20日～29日に「とうほく自動車フェスタ」を開催しました。



12日 仙台松島道路4車線化区間を供用開始



三陸自動車道の仙台松島道路(利府中IC～鳴瀬奥松島IC)の4車線化工事が進み、一部区間(利府中IC～松島海岸IC)で供用開始となりました。

8日 春日パーキングエリア完成式を開催



仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間の利府町春日地内に休憩施設等を備えた本格的なパーキングエリアが建設され、完成式を開催しました。

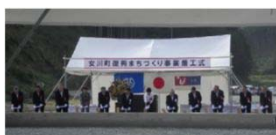
31日 戸倉海岸災害復旧工事 着工式を開催



震災で被災した気仙沼本吉地域の建設海岸において、本復旧工事がスタートしました。工事は2ステップで進み最終的にはTP+8.7mの高さの防潮堤が完成します。

29日 女川町復興まちづくり着工式を開催

コンストラクションマネジメント方式を導入し、土地区画整理事業では津波被災地で初めての工事着工となりました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

8日 仙石線多賀城地区連続立体交差事業高架切替記念式典を開催



JR仙石線多賀城駅周辺は、下り線の高架切替を行うことで、4箇所踏切遮断が解消され、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れが確保されるようになりました。

26日 津波防災シンポジウムを開催

宮城県庁にて、「歴史が伝える津波、歴史にしていくな津波」というテーマのもと開催したシンポジウムには、約250名の参加者が集まりました。



4日 石巻港 災害復旧工事着工式を開催



石巻港の本格的な災害復旧工事の着手にあたり復旧・復興に向けた槌音が響きました。

8日 第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国モデルとなる復興住宅整備を目指します。今年度は4回開催しました。

13日 宮城スタジアム災害復旧工事完了



地震により破損していた屋根など、改修工事がすべて完了しました。8月19日、22日、27日には、サッカーU-20女子ワールドカップの試合が実施されました。

18日 宮城県災害公営住宅整備指針ガイドライン策定

災害公営住宅の整備の基本的な考え方や地域特性に配慮した取り組みを示し、快適で良好な居住空間を被災された方々に提供することを目指した指針を策定しました。

30日 中国南方航空による仙台～長春線を再開

仙台～長春線の再開により、仙台空港の国際定期便の路線は、震災前と同じ6路線・7都市につながり全線復活となりました。(日中関係の悪化により現在運休中)



5日 岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式を開催

岩沼市玉浦西地区において防災集団移転促進事業が全国第一号として着手しました。



8日 三陸沿岸道路 石巻北インターチェンジ 及び 県道石巻北インター線着工式を開催

津波で被災した周辺地区の交通利便性の向上や災害時における交通網の強化と、被災地復興へつなげる一歩として動き出します。

18日 石巻東部浄化センター下水処理開始式を開催

水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始することとなりました。これにより、県内の下水処理場の全てにおいて生物処理が再開したことになります。



17日 仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化実現

3港の港湾区域の統合により、新たな国際拠点港湾「仙台塩釜港」がスタートしました。



17日 女川湾口防波堤災害復旧工事着工式を開催

本格的な災害復旧工事に着手したことで、女川町中心部の津波被害の軽減と復興まちづくりに大きく貢献します。

1日 払川ダムのダム湖命名式及び試験湛水式 開催



平成21年3月に工事着手した払川ダム(南三陸町)が平成24年10月に完成したことから、試験湛水を行う運びとなりました。なお、ダム湖の名称は「田東(たつがね)湖」に決定しました。

27日 山元町新山下駅周辺地区第一期災害公営住宅新築工事着工式を開催



整備計画戸数15,000戸のうち、県が受託する工事の第1号として、山元町新山下駅周辺地区第一期の工事が始まりました。(年度内に18戸完成し順次入居開始)

1日 仙台東部道路仙台港インターチェンジが供用開始

仙台東部道路(亘理IC～仙台港北IC)中に新たに供用開始した仙台港ICは、東北唯一の国際拠点港湾である「仙台塩釜港(仙台港区)」と直結する非常に重要なインターチェンジです。



27日 旧北上川河口部堤防護岸復興工事が開催



国土交通省直轄のこの工事の完成予定は、平成27年度で、旧北上川河口部は洪水、高潮、L1津波に対応するため堤防高TP7.2mが確保されます。

31日 「～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラム in宮城」を開催



東日本大震災の発生から2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、復興フォーラムを開催しました。当日は、聴講として470人以上のお客様にお越しいただきました。

14日 「南三陸町災害公営住宅整備事業着工式」が開催

南三陸町入谷地区(51戸)において南三陸町として初めての災害公営住宅に着手することを受けて着工式が開催されました。



11日 東日本大震災発生から二年が経過

県内各地で追悼式を開催し犠牲者へ哀悼の意を捧げました。

23日 「二線堤・国道346号鹿島台バイパス開通式」を開催

「吉田川二線堤及び国道346号鹿島台バイパス共同事業」において、今回全長3,620mの二線堤と道路が供用開始しました。



10月

17日 定川河川災害復旧工事着工式を開催

石巻市・東松島市を流れる定川の堤防は、震災により壊滅的な被害を受けましたが、害復旧工事に着手することになりました。



25日 東松島市復興まちづくり整備事業着工式を開催

この事業着手を皮切りに東矢本駅北地区の区画整理事業や7地区の防災集団移転事業が展開されます。

4日 石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業 安全祈願祭・起工式開催



石巻市の本格的な復興まちづくり整備の第1号となります。起工式では、早期復興を祈念しました。

14日 気仙沼港岸壁災害復旧工事着工式を開催

震災により沈下していた、岸壁や荷捌き場のかさ上げを含む本格的な復旧工事が始まりました。



11月

12月

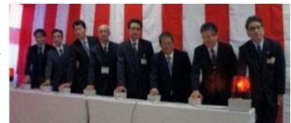
23日 大島架橋事業着工式を開催



事業着手から約1年での着工にあたり、事業推進に御尽力いただいた約50名の関係者に御参席いただきました。

25日 「仙塩浄化センター汚泥焼却施設稼働開始式」を開催

昨年末から試運転を行って来た汚泥焼却施設が稼働し、試験焼却の開始を記念して当イベントを開催しました。



29日 「岩沼海浜緑地復旧・復興工事着工式」を開催

岩沼海浜緑地は、様々な防災対策を施し、利用者が安全に、安心して遊べる災害に強い公園を目指して整備を進めます。



1月

2月

26日 「南三陸町防災集団移転促進事業着工式」開催

藤浜地区において、造成工事に着手したことから防災集団移転促進事業着工式を開催しました。



3月

22日 県南浄化センター下水道災害復旧完工式を開催



県南浄化センターの施設が復旧し、震災前と同様の機能を回復したことから、完工式を実施しました。23日には、震災復興支援の一環として大島桜の記念植樹祭を開催しました。

23日 「仙台湾南部海岸完成式」を開催



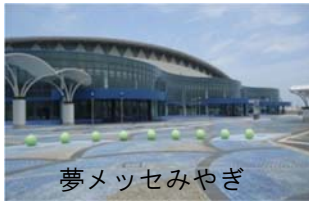
国の直轄事業として早期の復旧が進められ、この度、仙台空港や県南浄化センター等の重要インフラ施設を守る区間合計約5kmが完成しました。

2.国・宮城県・土木部の二年目の歩み

平成24年4月	
国・宮城県全体のトピックス	土木部のトピックス
<p>4日：第2回東日本大震災復興交付金事業計画を提出 356事業789億円に上る復興交付金事業を沿岸部15市町と内陸部5市町の合計20市町。うち15市町は、県と共同での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出しました。</p> <p>5日：国会で平成24年度一般会計予算成立 第180回国会で一般会計予算が成立し、復興経費として3兆7754億円が予算化されました。</p> <p>6日：三陸沿岸道路仙塩道路4車線化着工式開催 仙塩道路の4車線化着工式を国土交通省東北地方整備局が開催しました。この道路は東北縦貫自動車道、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の経済・産業基盤を支える道路になります。（仮称）多賀城ICも設置されます。</p>  <p>4車線化工事着工式</p> <p>17日：災害廃棄物処理業務（亘理名取ブロック（岩沼処理区））火入式を開催 焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。</p> <p>19日：復興整備協議会を開催 石巻市の復興整備協議会において、防災集団移転促進事業等に関する協議を行いました。</p> <p>23日：災害廃棄物処理業務（亘理名取ブロック（山元処理区））焼却開始式を開催 焼却施設の一部が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、焼却開始式を執り行いました。</p> <p>24日：第1回宮城県災害廃棄物処理対策協議会市町村長会を開催 平成24年3月に災害廃棄物処理業務連携推進協議会を設置し、沿岸市町での協力体制を確立したところであるが、県内市町村長で全県的な処理推進を図るため会議を開催しました。</p>	<p>1日：仙台―長春線のチャーター便を運航 中国南方航空が仙台―長春線のチャーター便を震災後初運行しました。</p> <p>2日：平成24年度自治法派遣職員へ辞令交付 28都道府県から派遣された104名の自治法派遣職員へ4月1日付けで村井知事から辞令が交付されました。</p>  <p>村井知事から辞令交付</p> <p>2日：不動産鑑定評価の情報提供 県の災害復旧・復興事業の用地を取得するため、一括発注した不動産鑑定評価136地点の結果を沿岸15市町に対して情報提供を行いました。</p> <p>4日：災害公営住宅の整備戸数の見直し 整備戸数：約12,000戸（17市町）を約15,000戸（21市町）に見直しました。</p> <p>8日：「仙石線多賀城地区連続立体交差事業高架切換記念式典を開催 JR仙石線多賀城駅周辺は、下り線の高架切換を行うことで、4箇所の踏切遮断が解消され、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れが確保されるようになりました。</p>  <p>多賀城駅東側の状況</p> <p>25日：仙塩浄化センター下水処理開始式を開催 仙塩浄化センターの復旧は、STEP3「水質改善期Ⅱ」に移行し、生物処理が可能となり、震災前の50%の能力まで復旧しました。</p> <p>28日：高砂コンテナターミナルガントリークレーン3号機の供用再開 ガントリークレーン全4基が完全復旧し、複数の船舶が同時に着岸する場合などに、より効率的な荷役が可能となりました。</p> <p>29日：仙台空港臨空公園の開園 約1ヘクタールの園内に遊具広場や芝生広場を備え、展望スペースからは迫力ある飛行機の離発着が観察出来るようになっており、多くの家族連れで賑わっています。</p>

5月	
国・宮城県全体のトピックス	土木部のトピックス
<p>7日：常磐線の復旧に関する覚書の締結 宮城県、山元町及び東日本旅客鉄道株式会社仙台支社は、東日本大震災により被災した常磐線の早期復旧を図るため、復旧事業の実施に関する基本的な事項を定めた覚書を締結しました。</p>	<p>1日：任期付職員へ辞令交付 復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が交付されました。</p>
<p>12日～13日：天皇皇后両陛下が仙台市をご訪問 天皇皇后両陛下が仙台市で開催される第14回IACIS国際会議開会式に御臨席、併せて東日本大震災の被災者を御訪問されました。</p>	<p>17日：中国／韓国航路（外貿定期コンテナ航路）が新たに1便就航 中国／韓国航路、北米航路、韓国航路（釜山港）とあわせて、外貿コンテナ航路は、4航路週4便となり、ほぼ震災前の水準に回復しました。</p>
<p>13日：災害廃棄物処理業務（石巻ブロック）火入式の開催 焼却施設の一部（焼却炉5基中の1基）が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。</p>	<p>17日：河川・海岸の復旧高さや復旧スケジュールをホームページで公開 見える復興見せる復興の取り組みとして、河川・海岸の復旧方法の具体的な位置や堤防高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図等をホームページで公開しました。</p>
<p>15日：みやぎスマートシティ連絡会議の設置 再生可能エネルギーを活用しながら現代社会や地域を取り巻く諸課題を解決し、かつ、再生からさらなる発展へつなげる地域づくりを目指すため、沿岸各市町と県が連携してより具体的な検討を行うことを目的に連絡会議を設置し、第1回会議を開催しました。</p>	<p>21日：仙台-ソウル線のデ일리ー運航再開 アジアナ航空の仙台-ソウル線は、震災前と同じ毎日1日往復の運航となりました。</p>
<p>15日：復興庁復興推進委員会との意見交換会を開催 復興推進委員会（五百旗頭真委員長他）が来県され、県と震災復興の取組・課題等について意見交換を行いました。</p>	<p>21日：第1回宮城県復興道路連絡調整会議を開催 復興道路・復興支援道路である三陸沿岸道路と宮城県北高速幹線道路の早期完成を図るため、関係機関で用地取得や遺跡調査等、整備に関する課題について、意見交換を行いました。</p>
<p>25日：第2回東日本大震災復興交付金交付可能額を通知 復興庁から1,704億円（申請額789億円）に上る復興交付金可能額が通知されました。</p>	<p>23日：第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会を開催 復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、国土交通省東北整備局、農林水産省東北農政局及び東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図りました。</p>
 <p>仮設住宅の住民からの奉迎の様子</p>	 <p>中国／韓国航路再開式典</p>
 <p>災害廃棄物処理業務（石巻ブロック）火入式</p>	<p>26日：津波防災シンポジウムを開催 「歴史が伝える津波、歴史にしていって津波」というテーマのもと開催したシンポジウムには、約250名の参加者が集まりました。</p>
	<p>31日：国道113号館矢間バイパスが開通 丸森大橋の供用開始にあたり、国道113号館矢間バイパス開通式が開催され、全線開通を祝いました。</p>

6月	
国・宮城県全体のトピックス	土木部のトピックス
<p>11日：北九州市長の来県および意見交換 本県の災害廃棄物の処理受け入れに向け検討いただいている北九州市長と知事が意見交換を行いました。</p> <p>12日：「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練を実施 東日本大震災等の災害経験を元に、今後も起こり得る大規模地震・津波等に備えるため、震災対策推進条例に定めるみやぎ県民防災の日（6月12日）に合わせ、災害対策本部と防災関係機関等が一体となった訓練を行いました。</p> <p>12日：復興推進計画（IT特区）に認定 東日本大震災復興特別法に基づく復興推進計画（IT特区）認定を受けた仙台市・石巻市・気仙沼市・白石市・名取市・多賀城市・登米市・栗原市・東松島市・大崎市・亘理町・利府町・大和町・富谷町・大衡村・女川町・南三陸町（17市町村）に78箇所の復興産業集積区域を設定しました。</p> <p>13日：ベルギー王国皇太子妃が来県 ベルギー王国マチルド皇太子妃が来県し、県庁で高校生と交流し、村井知事に表敬訪問しました。</p> <p>15日：宮城県議会平成24年6月定例会（第337回）が開会（～7/6まで） 宮城県議会の平成24年6月定例会が22日間の日程で開会しました。</p> <p>19日：東日本大震災に対処するための緊急要望 村井知事が東日本大震災に対処するための予算措置等を求める要望書を野田内閣総理大臣あて提出しました。</p> <p>26日：第3回東日本大震災復興交付金事業計画を提出 168事業900億円に上る復興交付金事業を沿岸部13市町と内陸部5市町の合計16市町。うち8市町は、県と共同での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出。</p>	<p>1日：「東日本大震災1年の記録」、「東日本大震災職員の証言（想い）」を公開 震災発生時等の対応、震災発生時の証言（想い）などを取りまとめ、今後の災害対策への活用を図るため、記録誌を公開しました。</p> <p>1日：平成24年度宮城県港湾復興大会を開催 宮城県港湾協会が主催、国会議員や宮城県議会議員の皆様をはじめ、港湾関係団体等約400名が一堂に会する熱気あふれる大会となりました。</p> <p>4日：石巻港 災害復旧工事着工式を開催 本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。広域石巻圏内の復興に大きく寄与すると期待します。</p> <p>7日：菫蒲田海岸災害復旧工事着工式を開催 本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。七ヶ浜町の復興まちづくりに大きく寄与するものとなります。</p> <p>8日：第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催 住宅・まちづくりに関する情報の交換・共有を図り、民間の力をお借りして全国のモデルとなる復興住宅を整備していきます。</p> <p>27日：気仙沼市と都市再生機構（UR）が協力協定を締結 気仙沼市と独立行政法人都市再生機構（UR）は、東日本大震災の被災地域における復興まちづくりに関する覚書と協力協定を締結しました。</p> <p>29日：夢メッセみやぎ復旧完了 東北最大級の屋内展示場である夢メッセみやぎは、甚大な被害を受けるも早期の復旧活動をすすめて、完全復旧の運びとなりました。</p>



7月

国・宮城県全体のトピックス

3日：野田首相が来県し、村井知事と意見交換

野田首相が「世界防災閣僚会議 in 東北」に出席されるため宮城県に来県し、村井知事と会談しました。そのなかで、村井知事は「東日本大震災に対処するための予算措置等を求める要望書」と「平成25年度国の施策・予算に関する提案・要望書」を提出しました。



14日：災害廃棄物処理業務（宮城東部ブロック）火入式の開催

焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

20日：村井知事が北九州市長を訪問

村井知事が北九州市長を訪問し、災害廃棄物の広域処理についてのお礼とともに意見交換をしました。

23日：復興推進計画「宮城県民間投資促進特区（農業版）」を認定申請

新たな農業法人の設立や民間企業との連携による経営の大規模化、生産力の拡大と高付加価値化による収益性の高い農業を実現させ、沿岸部における雇用の創出と地域経済・社会の復興につなげるため復興庁へ認定申請をしました。

27日：北九州市の市民団体が災害廃棄物広域処理について提訴

北九州市で広域処理される災害廃棄物について、北九州市の市民団体が宮城県を相手取り提訴をしました。

27日：石巻ブロックの災害廃棄物を仙台市へ搬出開始

仙台市から受入表明をいただいた石巻ブロックの災害廃棄物の処理について、仙台市の災害廃棄物の処理と並行して処理を開始しました。

30日：花瀧山トンネル貫通式を開催

国土交通省の権限代行事業として進んでいた国道108号花瀧山バイパス事業において、花瀧山4号トンネル（全長1,385m）の掘削が完了し、貫通式が行なわれました。



土木部のトピックス

12日：仙台松島道路4車線化を供用開始

三陸自動車道の仙台松島道路（宮城県道路公社管理）において施工中の4車線化工事が進み、利府中 IC と松島海岸 IC が供用開始となりました。



13日：宮城スタジアム屋根応急改修・災害復旧工事が完了

宮城スタジアムは、地震により屋根が破損しておりましたが、約一年の工期をもって改修工事が完了しました。



18日：宮城県災害公営住宅整備指針ガイドラインを策定

災害公営住宅の整備の基本的な考え方や地域特性に配慮した取り組みを示し、快適で良好な居住空間を被災された方々に提供することを目指した指針を策定しました。

19日：女川町復興まちづくり基本協定調印式を開催

復興まちづくり事業を協働して推進するための基本協定を、女川町とUR都市再生機構が、きぼうのかね商店街に締結しました。

20日：石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地地区画整理事業認可交付式を開催

県内初となる石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地地区画整理事業について事業認可しました。



30日：中国南方航空による仙台－長春線を再開

仙台－長春線の再開により、仙台空港の国際定期便の路線は、震災前と同じ6路線・7都市につながり全線復活となりました。



8月

国・宮城県全体のトピックス

2日：被災市町支援のための宮城県任期付職員を募集

県内の沿岸被災市町に任期付職員を派遣するため、県で募集を開始しました。

20日：被災5市町の首長が村井知事と意見交換

東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸5市町（気仙沼市・南三陸町・女川町・石巻市・東松島市）は、震災復興に関わる共通の課題を共有し、政府への働きかけなどを強めるため、「宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議」を発足させました。



20日：JR気仙沼線においてBRTによる暫定運行開始

津波により甚大な被害を受け運休が続く気仙沼線（柳津駅～気仙沼駅間）の仮復旧として、BRT（バス高速輸送システム）による沿線の高等学校の2学期開始に合わせ、暫定運行を開始しました。



21日：みやぎの復興現場訪問事業を開始

東日本大震災からの復興に前向きに取り組んでいる企業や団体などを村井知事が訪問する「“みやぎの復興現場”訪問事業」を開始しました。



23日：福島県知事が村井知事を表敬訪問

福島第一原発事故に伴う避難者受け入れなど、東日本大震災からこれまでの支援に対するお礼を伝えるため、佐藤雄平福島県知事が村井知事を表敬訪問されました。



土木部のトピックス

5日：岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式を開催

岩沼市玉浦西地区において防災集団移転促進事業が全国第一号として着手されました。



造成工事着工式

8日：仙台松島道路「春日パーキングエリア完成式」開催

仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間の利府町春日地内に本格的なパーキングエリアが建設され、完成式が開催されました。



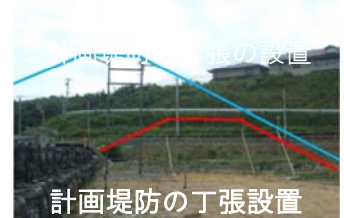
春日PA完成式

30日：第2回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

宮城県災害公営住宅整備指針ガイドライン、宮城県災害公営住宅設計標準などについて、関係機関で意見交換等を行いました。

31日：戸倉海岸災害復旧工事 着工式を開催

東日本大震災で被災した気仙沼本吉地域の建設海岸において、本復旧工事がスタートしました。



計画堤防の丁張設置

8月下旬：来年度の自治法派遣職員の継続要請及び東日本大震災からの現状を報告

宮城県土木部は、復旧・復興事業の業務量増大に対応するため、全国28都道府県から100名以上の派遣職員の応援を頂いております。訪問に際し、これまでの応援に対する御礼と、来年度もマンパワー不足が見込まれることから引き続き派遣して頂けるようお願いしました。また、3.11 伝承・減災プロジェクトの一環として、東日本大震災からの復旧・復興状況と教訓を伝えました。（詳細については参考資料をご参照ください）



徳島県庁にて

9月

国・宮城県全体のトピックス

8日：三陸自動車道「石巻北インターチェンジ」及び「県道石巻北インター線」着工式開催

国と県の共催で着工式を開催。石巻北ICと石巻北インター線は、国道398号石巻バイパスと接続し整備するもので、石巻地域の復興に寄与するものです。



着工式の様子

10日：ニュージーランド首相が知事を表敬訪問

ニュージーランドのジョン・キー首相が宮城県庁を訪れ、村井知事を表敬訪問しました。



10日：北九州市へ災害廃棄物の海上輸送開始

石巻市で発生した災害廃棄物（可燃物）について、処理を一部引き受けていただく北九州市に向け、9月10日から海上輸送が始まりました。



11日：宮城県議会平成24年9月定例会（第338回）が開会（～10/11まで）

宮城県議会の平成24年9月定例会が31日間の日程で開会しました。

15日：災害廃棄物処理業務（南三陸処理区）火入式の開催

焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

18日：宮城県応急仮設住宅契約事務センターを開設

県が借り上げた民間賃貸住宅の再契約（期延長）専用の事務センターが本格稼働しました。

22日：G9東日本大震災復興支援セレモニーの開催

世界のトップシェフで構成する食の首脳会議G9（グループ・ナイン）のメンバーによる、東日本大震災で被災した宮城、福島、岩手の食材生産者を支援するための復興支援セレモニーが開催されました。

土木部のトピックス

10日：震災復興に伴う盛土材連絡調整会議を開催

復旧・復興事業では、約3,000万m³以上の盛土材が必要と想定されます。その安定確保に向けて、県及び沿岸15市町からなる連絡調整会議を設置し、土取場の確保や広域的な需給調整を行います。

「女川町荒立・陸上競技場跡地被災市街地復興土地区画整理事業」事業認可書交付式を開催

今年の3月に女川町被災市街地復興土地区画整理事業（226.4ha）が復興整備事業として計画に位置づけられてから約半年、同町荒立（あらだて）地区と陸上競技場跡地地区について、事業認可しました。



事業認可書交付式の様子

18日：石巻東部浄化センター下水処理開始式を開催

同センターは、水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始することとなりました。これにより、県内の下水処理場の全てにおいて生物処理が再開されることになりました。



下水処理開始式

29日：女川町復興まちづくり着工式を開催

7月19日に女川町とUR都市機構との間で復興まちづくり事業の協定が締結され、コンストラクションマネジメント方式を導入し、土地区画整理事業では津波被災地で初めての工事着工となりました。



着工式での鉄入れの様子

10月

国・宮城県全体のトピックス

4日：ロンドンオリンピック卓球日本代表の福原愛選手に宮城県特別表彰授与

ロンドンオリンピックの卓球女子団体で銀メダルを獲得した福原愛選手が村井知事を表敬訪問し、宮城県特別表彰が授与されました



13日：第25回全国健康福祉祭ねりんピック宮城・仙台2012（13～16日まで）

本県での東日本大震災後初の全国規模の大会となる「ねりんピック宮城・仙台2012」が開催されました。総合開会式は、常陸宮同妃両殿下に御臨席を賜るとともに、出演者・ボランティアなど多くの皆さんの御協力により盛大に執り行われました。



17日：第4回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

1,585事業7,726億円に上る復興交付金事業を沿岸部15市町と内陸部4市町の合計19市町。うち15市町は、県と共同での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出

18日：第1回宮城県被災者復興支援会議を開催

被災者の復興を早期に果たすため、被災者支援に取り組む団体、有識者、行政等が一堂に参加した第1回宮城県被災者復興支援会議が開催されました。



25日：指定廃棄物最終処分場等に係る市町村長会議を開催

放射性物質汚染対処特措法に基づき、事故由来放射性セシウムによる汚染状態が8,000Bq/kgを超える廃棄物の処理について、県内に最終処分場が必要であることの理解を得るとともに、処分場等の設置に係るプロセスのあり方など、国への要望等について県と市町村で意見交換をしました。

土木部のトピックス

1日：東部土木事務所分庁舎の閉鎖

東部土木事務所の道路建設第三班及び道路建設第四班は、これまで向陽町分庁舎で業務を行っていましたが、平成24年10月1日から東部土木事務所内（別棟）に移転しました。

17日：定川河川災害復旧工事着工式を開催

東日本大震災で被災した石巻市及び東松島市の定川において、本復旧工事を着工しました。



17日：女川湾口防波堤災害復旧工事着工式を開催

女川港石浜地区において、女川町と共催で女川湾口防波堤の災害復旧工事着工式を執り行い、女川港の復旧・復興に向けた植音が響きました。



17日：仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化の区域変更同意

東北をけん引する中核的国際拠点港湾の実現を目指し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化に取り組んできたところでありますが、10月17日付けで仙台塩釜港の港湾区域変更の同意と港湾法施行令の改正がなされました。



23日：建設業団体及び市町村との意見交換会を開催（～11月2日まで）

膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、宮城県建設業協会各支部会員、非会員、市町村との意見交換を実施した。

11月

国・宮城県全体のトピックス

3日：三陸沿岸道路（歌津～本吉間）起工式の開催

国土交通省東北地方整備局、宮城県及び気仙沼市は、三陸沿岸道路の（歌津～本吉）「即年着工」起工式を開催しました。



着工式の様子

19日：仙台空港とグアム国際空港との姉妹空港提携の覚書を締結

仙台空港及びグアム国際空港の友好関係を発展させ、情報交換や文化交流等を通じて、宮城県及びグアム両地域の平和と繁栄を目指して覚書を締結しました。



22日：宮城県議会平成24年11月定例会（第339回）が開会（～12/13まで）

宮城県議会の平成24年11月定例会が22日間の日程で開会しました。

27日：事故繰越の手続き簡素化の通知

国の復興推進会議において、平成23年度補正予算で措置された事業について、事故繰越手続きの簡素化を行うことについて合意しました。

30日：復興交付金第4回交付可能額通知

復興庁から5,059億円（申請額7,726億円）に上る復興交付金可能額が通知されました。

30日：マンスフィールド財団タスクフォース一行が知事表敬訪問

米国とアジア各国のリーダー間のネットワーク作り、政策課題の研究、アジアの国々に関する人々の理解を深めることを目的に設立された米国のモーリン&マイク・マンスフィールド財団が村井知事に表敬訪問しました。

土木部のトピックス

1日：払川ダムの試験湛水式を開催

当ダムは10月にダム本体が完成し、試験湛水式を開催しました。また、払川ダムのダム湖命名式が行われ、「田東湖」と決定されました。



湛水式の様子

3日：宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練の実施

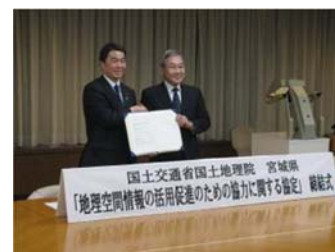
昨年公布・施行された「津波対策の推進に関する法律」に定める「津波防災の日（11月5日）」に合わせ、県、気仙沼市、防災関係機関及び地域住民が一体となって各種訓練を行い、地震・津波に対する防災体制の確立と防災意識の高揚等を図りました。

14日：気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式を開催

式典では、来賓、関係者約100名の出席のもと、黙祷の後、主催者からの挨拶、復旧工事概要説明を行い、工事の安全と早期復旧を祈念し鍬入れを行いました。

16日：国土交通省国土地理院と「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結

宮城県と国土交通省国土地理院が保有する地理空間情報の相互活用を促進するため、「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結しました。



20日：山元町「新山下駅周辺地区第一期（その2）」災害公営住宅の工事に着手

新山下駅周辺地区第一期分26戸の災害公営住宅建設に県として初めて着工しました。



12月	
国・宮城県全体のトピックス	土木部のトピックス
<p>1日：仙台東部道路「仙台港インターチェンジ」供用開始</p> <p>仙台東部道路は、常盤自動車道や三陸縦貫自動車と一体となって首都圏と東北地方を連結する重要な自動車専用道路ですが、今回開通となった仙台港インターチェンジは、仙台東インターチェンジと仙台港北インターチェンジの間に位置し、東北唯一の国際拠点港湾である「仙台塩釜港」と直結する非常に重要なインターチェンジです。</p>  <p style="text-align: center;">締結式の様子</p> <p>10日：米国デラウェア州知事が姉妹県州締結15周年にあたり来県</p> <p>宮城県との姉妹県州締結15周年を迎えた米国デラウェア州からジャック・マーケル知事夫妻が来県し、今後の友好関係強化に向けた取り組みを確認するため、共同宣言書を取り交わしました。</p>  <p style="text-align: center;">共同宣言書の調印式</p> <p>11日：沿岸市町長と知事とのまちづくり・住宅整備に関する意見交換を実施</p> <p>沿岸市町のまちづくり・住宅整備に対する課題への対応策等を検討するため、村井知事が沿岸市町を訪問し、直接市町長等と、まちづくりや災害公営住宅整備について意見交換を行いました。</p> <p>16日：第46回衆議院議員選挙の投開票</p> <p>自民党が118議席から294議席へ躍進し、単独で絶対安定多数(269議席)を確保する大勝で第一党になりました。</p> <p>18日：東松島市地区農地海岸保全施設災害復旧工事着工式の開催</p> <p>松島町農地海岸堤防は総延長が約2.5kmあり、堤防高TP+3.3mで復旧し、平成27年度までに完成させる予定で、平成27年度の仙石線全線復旧にあわせて、来年度中に線路に沿った約1キロ部分の完成を目指します。</p>	<p>4日：土木部業務継続計画（BCP）改訂版の運用を開始</p> <p>平成22年6月より運用している土木部BCPについて、東日本大震災の検証結果を受け改訂し、運用を開始しました。</p> <p>18日：(主) 仙台三本木線「混内山道路整備事業」の行政代執行</p> <p>本県では初めてとなる行政代執行が行われ、代執行権者から起業者へ土地が引き渡しされました。</p>  <p>19日：一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結</p> <p>県、市町村が管理する施設の給排水及び空調設備等の被害状況調査及び応急対策について、一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結しました。</p>  <p style="text-align: center;">協定式の様子</p> <p>20日：仙塩浄化センター汚泥焼却施設の試運転を実施</p> <p>汚泥焼却施設の復旧工事が終了し、試運転を開始しました。復旧期間を当初計画よりも3ヶ月短縮しての工事完了です。</p>  <p>26日：被災市街地復興まちづくり勉強会を開催</p> <p>被災市街地復興土地区画整理事業は、現在宮城県内5地区で事業認可済み、一団地の津波防災拠点市街地形成施設は5地区が都市計画決定済みです。両事業ともに、事業予定地区では住民との合意形成が図られつつあり、今後順次事業認可の申請が予定されております。被災市街地の早期復興を図るため、県内市町の各事業担当者を対象とした勉強会を開催しました。</p>

平成25年1月

国・宮城県全体のトピックス

12日：安倍総理が県内視察を実施

安倍総理が総理就任後初めて宮城県を訪れ、石巻市で事業を再開した企業や、岩沼市の防災集団移転造成工事の現場、亘理町の仮設住宅団地などを視察しました。



安倍総理の視察状況

15日：被災4県知事等による政府要望活動の実施

東日本大震災に対処する予算措置等を求めて、村井知事、達増岩手県知事、青森県・福島県副知事が安倍内閣総理大臣をはじめ、各省庁大臣等を訪問し、要望活動を実施しました。



政府要望の様子

27日：旧北上川河口部堤防護岸復興着工式を開催

国土交通省東北地方整備局が旧北上川河口部における本格的な堤防整備に先駆けて、川の水の逆流を防ぐための矢板護岸工事の着工式を執り行いました。

29日：災害廃棄物処理業務（気仙沼ブロック（気仙沼処理区））安全祈願祭の開催

気仙沼ブロック（気仙沼処理区）の二次仮置き場（小泉地区）において、建設を進めておりました焼却施設（焼却炉2基）が完成したことから、安全祈願祭を開催しました。

これで、県受託処理による焼却炉26基全て稼働しました。

29日：第4回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

162事業1,150億円に上る復興交付金事業を沿岸部15市町と内陸部5市町の合計20市町。うち11市町は、県と共同での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出。

29日：平成25年度政府予算案が閣議決定

本日開催された閣議において、平成25年度政府予算案が閣議決定されました。

東日本大震災関係予算では、平成27年度までの復興財源フレームである19兆円が見直され、6兆円増額となり総額で25兆円になりました。

土木部のトピックス

26日：塩釜市伊保石地区災害公営住宅整備工事の安全祈願祭を開催

塩釜市の伊保石地区に計画されている災害公営住宅の基盤整備工事に着手したことから、工事安全祈願祭を開催しました。伊保石地区の地域特性を生かすため建物配置を工夫し、緩勾配屋根が重なり合う美しい景観を創出させます。



23日：大島架橋事業着工式を開催

気仙沼市二ノ浜地区での道路改良工事及びトンネル本体工事の2工事を発注し、今後工事が本格的に稼働していくことから、工事着手の祝着と事業中の安全及び早期完成を祈念して大島架橋事業着工式を開催しました。



着工式の様子

25日：仙塩浄化センター汚泥焼却施設の汚泥焼却を開始

汚泥焼却施設の復旧工事が当初計画より3ヶ月間短縮して完成し、正式に汚泥焼却を開始しました。



29日：岩沼海浜緑地着工式を開催

県内の都市公園のうち、津波災害により壊滅的な被害を受けた公園の災害復旧工事第1号として岩沼海浜緑地の工事に着手しました。

31日：～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラム in 宮城を開催

東日本大震災の発生から2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、復興フォーラムを宮城県庁2階講堂で開催しました。当日は、聴講として470人以上のお客様にお越しいただきました。



知事挨拶の様子

2月

国・宮城県全体のトピックス

9日：安倍総理が県内視察を実施

復興庁発足から1年を翌日に控え、安倍総理大臣は気仙沼市を訪れ、稼働を再開した気仙沼漁業協同組合の製氷工場を視察しました。



安倍総理の視察状況

14日：村井知事が河野宮崎県知事を表敬訪問

被災地復興支援として宮崎県や宮崎県内自治体からの職員派遣などの様々な支援に対する感謝の意を伝えるため、村井知事が河野宮崎県知事を表敬訪問しました。



表敬訪問の様子

15日：仙台・宮城デスティネーションキャンペーン共同記者会見を開催

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの実施に向けた共同記者会見が開催され、概要が発表されました。県内では、平成20年以来5年ぶりの開催となります。



19日：宮城県議会平成25年2月定例会（第340回）が開会（～3/19まで）

宮城県議会の平成25年2月定例会が29日間の日程で開会しました。

20日：レディー・ガガさんのメッセージ入りティーカップを県へ寄贈

歌手のレディー・ガガさんのメッセージ入りティーカップが県内在住の弓 哲玖（ゆみ あきひさ）さんから宮城県に寄贈されました。



※寄贈者の弓 哲玖さんが2月21日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

土木部のトピックス

4日：第2回貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会を開催

「貞山運河再生・復興ビジョン」の策定に向けて、この度、第2回目となる学識者等による検討座談会を、一般に公開して開催しました。

座談会に先立ち、平成24年度知水講座として、貞山運河に詳しい学識者等3名による基調講演を催しました。



座談会の様子

14日：南三陸町災害公営住宅整備事業着工式の開催

南三陸町として初めての災害公営住宅に着工するにあたり、着工式が開催されました。災害公営住宅整備事業で町内8か所、計930戸を整備する計画になっています。



着工式の様子

14日：(主) 気仙沼唐桑線「本町橋」が供用開始

平成14年に事業着手した本町橋架替事業「本町橋」が完成し、供用を開始しました。

供用開始にあたり、宮城県と気仙沼市の共催により「本町橋開通式」が多くの来賓の方々に御列席を賜り盛大に開催されました。



開通式の様子

26日：土木部業務継続計画（BCP）の地域版、建築・設備部門を運用開始

東日本大震災の検証結果を受けて平成24年12月4日に改訂した土木部業務継続計画（BCP）の地域版、建築・設備部門の運用を開始しました。



3月

国・宮城県全体のトピックス

3日：三陸沿岸道路志津川トンネル貫通式を開催

国土交通省東北地方整備局、宮城県及び南三陸町は、三陸沿岸道路の志津川トンネル貫通式を開催しました。



貫通の様子

平成23年11月の着工式から1年4ヶ月という驚異的なスピードでの貫通は、三陸道全線の早期全線開通と、沿岸部のみならず東北全体の復興への大きな弾みとなります。

8日：復興交付金第5回交付可能額通知

復興庁から1,307億円（申請額1,150億円）に上る復興交付金可能額が通知されました。

11日：県内各地で東日本大震災二周年追悼式を開催

気仙沼市東日本大震災追悼式には大震災により亡くなられた方々の御遺族や村井知事など1,400人以上が



気仙沼市追悼式の様子

参加しました。気仙沼高校吹奏楽部による献奏のあと、震災発生時刻の午後2時46分に黙とうが行われ、会場は犠牲者を追悼する静寂に包まれました。

また、県庁や大河原合同庁舎、大崎合同庁舎に献花台と記帳所が設置され、2,400名を超える方々が犠牲者に鎮魂の祈りをささげました。

23日：二線堤・国道346号鹿島台バイパス開通式を開催

国土交通省と宮城県が共同で進めてきた吉田川二線堤及び国道346号鹿島台バイパス事業において、全長3,620mの二線堤と国道346号鹿島台バイパスが供用開始しました。

23日：仙台湾南部海岸完成式を開催

仙台湾南部海岸は直轄事業として早期の復旧が進められ、仙台空港や県南浄化センター等の重要インフラ施設を守る区間として合計約5kmが完成し、完成式を開催しました。



土木部のトピックス

1日：仙台・宮城デスティネーションキャンペーンのラッピング電車の運行開始

宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」がラッピングされた仙台空港鉄道車輛の運行を開始しました。

(～6月30日)



9日：東松島市鳴瀬給食センター跡地地区の災害公営住宅工事に着手

東松島市の鳴瀬給食センター跡地の災害公営住宅（21戸、5階建て、共同住宅）に着手しました。



20日：亙理町荒浜地区の災害公営住宅に着手

亙理町の荒浜地区の災害公営住宅（100戸、5階建て、共同住宅）に着手しました。



21日：国際拠点港湾となる新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウムを開催

三港統合により新たな段階を迎える国際拠点港湾仙台塩釜港について、行政、産業界、観光等様々な視点から講演いただき、宮城の港湾の将来展望について関係者の理解を深めました。

22日：県南浄化センター下水道災害復旧完成式を開催

津波で甚大な被害を受けた県南浄化センターの災害復旧工事が全て完成したのを記念して、完成式を開催されました。

<空 白>